

# 科学技術イノベーション総合戦略2016における 重きを置くべき施策について【概要】

平成28年9月15日

内閣府政策統括官

(科学技術・イノベーション担当)

## 科学技術イノベーション総合戦略2016における 重きを置くべき施策

- 政府全体の科学技術関係予算の編成において、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、限られた資源の重要な分野や効果の高い施策への重点的配分、それによる資源の有効活用及び政策のP D C Aサイクルを確実に実行するため、科学技術イノベーション総合戦略2016の推進に向けて、概算要求に先立ち、関係する全ての省庁を集めて有識者等によるヒアリングを実施して、「重きを置くべき施策」を特定。
- 内閣府は、総合戦略が政府の予算に実効的に反映されるよう、財政当局等との連携を図る。
- 取りまとめ過程で得た検討課題などの知見については、「重きを置くべき施策」の実施に向けて留意するとともに、次年度の科学技術イノベーション総合戦略につなげる。

### ■ 科学技術イノベーション総合戦略

- 科学技術基本計画の中長期の方針の下、各年度に重きを置くべき項目を明確化
- 第2次安倍政権発足以来、成長戦略の一環として毎年策定し、閣議決定
- 「科学技術イノベーション総合戦略2016」は、本年5月に閣議決定

# 特定施策数及び概算要求額

## ① 未来の産業創造と社会変革

非連続なイノベーションを積極的に生み出す取組を強化、「Society 5.0」（超スマート社会）を世界に先駆けて実現。

- ・未来に果敢に挑戦する研究開発と人材の強化
  - ・新たな経済社会としての「Society 5.0」（超スマート社会）を実現するプラットフォーム
  - ・「Society 5.0」（超スマート社会）における基盤技術の強化
- 特定施策数：40施策 概算要求額：868億円

## ② 経済・社会的課題への対応

科学技術イノベーションを総動員し戦略的に課題の解決に取り組む。被災地における将来的な新技術や新産業の創出を引き続き推進。

- (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展
  - I エネルギー、資源、食料の安定的な確保
  - II 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現
  - III ものづくり・コトづくりの競争力向上
- (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
  - I 効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新・マネジメントの実現
  - II 自然災害に対する強靱な社会の実現
  - III 国家安全保障上の諸課題への対応※
  - IV おもてなしシステム
- (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献  
地球環境情報プラットフォームの構築

※：総合戦略2016より新たに記載

特定施策数：177施策 概算要求額：4107億円

## ③ 基盤的な力の強化

早急に対処しなければならない若手や女性の活躍促進、大学改革を強化し、先行きの見通しが立ちにくい時代に柔軟かつ的確に対応していく。

- ・人材力の強化（若手研究者や女性の活躍促進、人材流動化の促進等）
- ・資金改革の強化（国立大学改革と研究資金改革の一体的推進等）

特定施策数：25施策 概算要求額：5071億円

## ④ 人材、知、資金の好循環システムの構築

産学官の本格的連携やベンチャー企業の創出強化を通じ、世界を先導する我が国発のイノベーションが次々と生み出せるシステムを構築していく。

- ・オープンイノベーションを推進する仕組みの強化
- ・新規事業に挑戦する中小・ベンチャー企業の創出強化

特定施策数：23施策 概算要求額：274億円

## ⑤ 科学技術イノベーションの推進機能の強化

エビデンスに基づく実効性ある科学技術イノベーション政策の推進と2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活用した科学技術イノベーションの推進

特定施策数：4施策 概算要求額：9億円

**特定施策数：232施策**

**概算要求額：9538億円**

(①～⑤の複数に計上されている施策は再掲分を除いて計上)